

WHO ファクトシート

統合失調症

Schizophrenia

2018 年 4 月

重要な事実

- ・統合失調症は、世界中で 2100 万人以上が患っている慢性で重度の精神障害である。
- ・統合失調症は、思考、知覚、感情、言動、自己感覚と行動の歪みを特徴とする。一般的に経験されるものとしては、幻覚(そこにはないものを聞いたり見たりすること)や妄想(誤った信念への固執)などがある。
- ・世界的に、統合失調症は相当な障害を伴っており、教育や業務上の能力に影響を与えることがある。
- ・統合失調症患者は、一般の人々より早死にする可能性が 2~3 倍高い。これは、多くの場合、心血管系疾患、代謝系疾患や感染症などの予防可能な身体的な病気によるものである。
- ・統合失調症患者への偏見、差別、人権蹂躪が広く行われている。
- ・統合失調症は治療可能である。薬剤を用いた治療や社会心理的支援は効果的である。
- ・生活介助、住宅支援、雇用支援の促進は、統合失調症患者のための効果的な管理戦略である。

© World Health Organization

この文章は、日本 WHO 協会が WHO のメディアセンターより発信されているファクトシートのキーファクト部分について、2014 年 3 月に WHO 本部より付与された翻訳権に基づき作成したものです。

ファクトシートには、訳出部分以外にも当該案件に関する基本的情報や詳細情報へのリンク先などが示されていますし、また最新事情に合わせて頻繁に見直しが行われますので、更新日時の確認を含め WHO ホームページでの原文をご確認ください。

Schizophrenia

ファクトシート原文は [こちら](#)